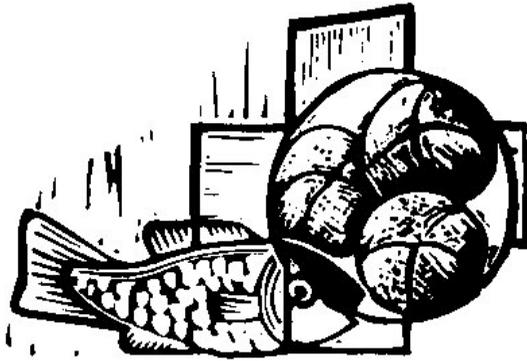


日本キリスト教団 大阪福島教会

聖 餐 式 文



目 次

A	聖餐の前に	3
	制定の物語	3
	使徒信条	5
	神の戒め、告白とゆるし	5
	平和のあいさつ	8
B	聖餐の4つの行為	9
	1 「パンを取り」(パンとぶどう酒の準備)	9
	2 「感謝して」(感謝・聖別の祈り)	11
	主の祈り	15
	3 「これを割き」(パン割き)	16
	4 「弟子たちに与えた」(陪餐)	16
C	聖餐の後に	17
	感謝の祈り 1	17
	感謝の祈り 2	17
	感謝の祈り 3	18
	派遣のことば(『讚美歌21』93-6-3)	18

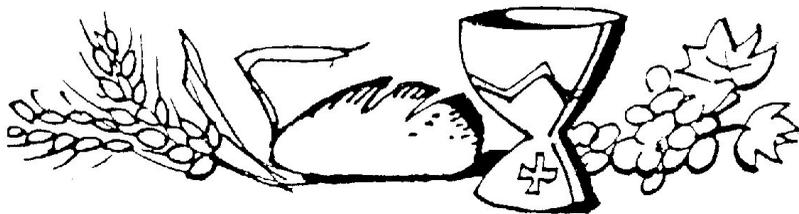
A 聖餐の前に

[制定の物語]

主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲むたびに、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

(I コリント 11 : 23~25)



[使徒信条]

司式者 聖餐を祝うとき、集まった人びとは、共に信仰を告白しました。私たちも、「使徒信条」によって、私たちの信仰を告白しましょう。

一同 わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。
わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこからこられて、生きている者と死んでいる者とをさばかれます。
わたしは、聖霊を信じます。きよい公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠のいのちを信じます。アーメン。

(『讚美歌 21』 93-4-1-B)

もしくは「ニケヤ信条」(『讚美歌 21』 93-4-2) を唱えてもよい。

期節によっては、聖餐の前に〔神の戒め〕を読んで自らを省み、〔告白とゆるし〕を行ってもよい。

〔神の戒め〕

司式者 キリストにあつて愛する皆さん、

神は、御自分を愛し、

また、隣人との平和に生きるように

わたしたちを招いておられます。

神がイスラエルの民に与えられた十戒は、

わたしたちの信仰の歩みにとって

変わる事のない指針を与えています。

「わたしは主、あなたの神、

あなたをエジプトの国、

奴隷の家から導き出した神である。

一同 あなたには、わたしをおいて

ほかに神があつてはならない。

あなたはいかなる像も造つてはならない。

あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。

安息日を心に留め、これを聖別せよ。

あなたの父母を敬え。

殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

隣人に関して偽証してはならない。

隣人の家を欲してはならない。」

(出エジプト記 20 : 2~17)

司式者 イエスは、ヘブライ語聖書の教えを要約して、
次のように教えられました。

「第一の掟は、これである。

一同 『イスラエルよ、聞け。
わたしたちの神である主は、唯一の主である。
心を尽くし、精神を尽くし、
思いを尽くし、力を尽くして、
あなたの神である主を愛しなさい。』

司式者 第二の掟は、これである。

一同 『隣人を自分のように愛しなさい。』
この二つにまさる掟はほかにない。』

(マルコ 12 : 29～31)

[告白とゆるし]

司式者 聖餐の恵みに与る前に、
イエス・キリストに倣って、
神を愛し、神に仕え、
隣人と共に生きるために、
わたしたちの罪を神の前に告白し
神と隣人からのゆるしと和解を求めましょう。

(沈黙)

一同 憐れみ深い神と兄弟姉妹の皆さんに告白します。
わたしは思いと言葉、行いと怠りによって
罪を犯しました。
心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして
神を愛することなく、
自分自身を愛するように
隣人を愛することもできませんでした。
わたしは罪を悔い、ゆるしを求めます。
神よ、キリスト・イエスを通して
示してくださった愛の故に
わたしを憐れみ、ゆるしてください。
あなたのみ心を喜び、
いのちと幸いの道を歩むことができますように。
兄弟姉妹の皆さん、
わたしのために神に祈ってください。

司式者 永遠の神がわたしたちを憐れみ、
キリスト・イエスによって罪をゆるし、
すべてのものに働く聖霊の力によって、
いのちと幸いの道を
歩ませてくださいますように。

一同 アーメン。

この後、すぐに [平和のあいさつ] を行う。

[平和のあいさつ]

イエスの言葉。

「あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰ってきて、供え物を献げなさい。」

(マタイ 5 : 23～24)

一同は、次のような言葉を語りながら、平和のあいさつを交わす。

- ◇ 主の平和。
- ◇ キリストの平和がありますように。
- ◇ 神の恵みがありますように。
- ◇ 神があなたと共におられますように。

(その他、自由な言葉で)



B 聖餐の4つの行為

1 「パンを取り」(パンとぶどう酒の準備)

[献げ物]

パンとぶどう酒、献げ物が集められ、聖卓に捧げられる。
献げ物を供えるとき、感謝の祈りを捧げてよい。
献げ物が集められないときも、パンとぶどう酒の準備はこ
こで行う。

パンとぶどう酒を献げるとき、司式者は次のように祈る。

司式者 永遠の神、天地を造られた方、
わたしたちの神はほめたたえられますように。
ここにささげるパンは、
分かち合うようにとあなたからいただいたもの、
大地の恵みによって生み出され、
人々の労働によって育てられ、
集められ、作られたもの、
わたしたちのいのちのパンとなるものです。

一同 永遠の神、天地を造られた方、
わたしたちの神はほめたたえられますように。

司式者 永遠の神、天地を造られた方、
わたしたちの神はほめたたえられますように。
ここに捧げる杯は、

分かち合うようにとあなたからいただいたもの、
大地の恵みによって生み出され、
人々の労働によって育てられ、
集められ、作られたもの、
わたしたちの救いの杯となるものです。

一同 永遠の神、天地を造られた方、
わたしたちの神はほめたたえられますように。

司式者 この食物によって、
わたしたちを養ってください。
わたしたちがあなたによって生かさされ、
自然とのつながり、人々とのつながりによって
支えられていることを
このパンと杯を通して、
深く味わうことができますように。

一同 アーメン。



2 「感謝して」(感謝・聖別の祈り)

司式者と一同は、神の救いの業に感謝して、祈る。

司式者 神はわたしたちと共にいます。

一同 共に食卓を囲む私たちのただ中にいます。

司式者 恵み深い神に感謝しましょう。

一同 命あるすべてのものに
食物を与える方に感謝をささげます。

司式者 天にいます神よ、あなたに感謝をささげます。

一同 あなたの慈しみは
とこしえにわたしたちに注がれています。

(詩編 136:1、25~26 参照)

司式者 永遠の神、天と地を造られた方、
あなたは天を雲で覆い、大地のために雨を備え、
山々に草を芽生えさせられます。
獣や、鳥のたぐいが求めて鳴けば、
食べ物をお与えになります。 (詩編 147:8~9)
あなたは倒れようとする人をひとりひとり支え、
うずくまっている人を起こしてくださいます。

(詩編 145:14)

あなたはわたしたちのために、
あらゆる時代、様々な場所に、
聖人たち、賢者たち、預言者たちを遣わして、
あなたの教えを示してくださいました。
なかでも、わたしたちは、
あなたがイスラエルの民に示された

いのちと幸いの道であるトーラー（律法）と
キリスト・イエスが歩まれた愛の道を、
あなたからの教えとして受け入れ、
感謝をささげます。

あなたは、イエスの苦しみと死、
復活のバプテスマによって
すべての人を神の民としてくださいました。
罪と死に縛られていたわたしたちは解放され、
古い自分に死んで、
新しい契約に生きるようにされました。

ここで、その日にふさわしい言葉を加えてもよい
イエスは、生涯を通して度々
多くの人々と食事を共にし、
それによって神の国の到来を
告げ知らせられました。
ことに、イエスは、
自ら進んで苦しみに向かう前の夜、
弟子たちと共に食卓を囲み、
互いに愛し合い、仕え合うことを教えられました。
わたしたちは、イエスが人々と共にされた
食事を思い起こして、
ここに感謝と賛美の食卓を囲んでいます。
キリストがご自身を捧げられたことに倣い、
わたしたちもこのからだを

生きた聖なる捧げ物として捧げて、
信仰の奥義をのべ伝えます。

一同 キリストは死に、キリストは復活し、
キリストは再び来られる。

司式者 あらゆるいのちに働く聖霊を送って、
このパンとぶどう酒を、
分かち合ういのちのしるしとして
聖別してください。
共に食卓を囲み、食べ物を分かち合うことで、
ここに豊かな交わりが生まれますように。

ここに集ったわたしたちにも
あなたからの息吹を注いでください。
わたしたちがこの世のために、
キリストのからだとなって、
正義と平和を実現し、慈しみと愛を行って
生きることができますように。

あなたが造られたすべての人を、
変わることなく恵み、祝福してください。
宗教や文化が異なっても、
受け入れあい、理解し合い、
尊重しあって共に生きることができますように。

ことに、キリスト教会を祝福してください。
あなたの聖霊によって、すべてのキリスト者を
その頭、信仰の完成者であるキリストと一つにし、
また、わたしたちをお互いに結び合わせ、
この世への務めにおいて一つとしてください。

ここで、その日にふさわしい

とりなしの言葉を加えてもよい

わたしたちは、すべてのいのちが尊ばれ、
造られたあらゆるものが
平和のうちに生きるときが
再び来るのを待ち望んでいます。

ここで、その日にふさわしい記念の言葉を加えてもよい

わたしたちがここで祝う食事が、
すべての人の招かれる祝宴を
先取りしたものとなり、
この世が再びあなたの国となるときには、
あなたが整えてくださる食卓の喜びに
共に与ることが出来ますように。

一同 御子イエス・キリストにより、
人々を生かし、人々に働く息吹である
聖霊によって、
すべての誉れと栄光はあなたのものです、
いのちの神よ、今もとこしえに。
アーメン。

[主の祈り]

続けて、「主の祈り」を捧げてもよい。

司式者 神の子どもとして、神に信頼して
キリスト・イエスの教えられたように
祈りましょう。

一同 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおり、

地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を

今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。

わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン。 (日本聖公会・カトリック教会共同訳)



3 「これを割き」(パンさき)

司式者 わたしたちはパンを割いて、分かち合い、
神の国をのべ伝えます。

パンは一つだから、

わたしたちは大勢でも一つの体です。

皆が一つのパンを分けて食べるからです。

(1 コリント 10 : 17)

わたしたちは救いの杯を上げて、神の名を呼び、
神を賛美します。

(詩編 116:13)

わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリスト
の血にあずかることです。

(1 コリント 10 : 16)



4 「弟子たちに与えた」(陪餐)

パン割きの後、恵みの座に進み出て、パンと杯を受ける。
一塊のパンから割いて渡された小片を、杯の中のぶどうジ
ュースに浸けて、聖餐に与る。

バプテスマを受けていない人で、希望する場合には、頭(も
しくは肩)に手を置いて、祝福を受けることもできる。

C 聖餐の後に

[感謝]

次の祈りのひとつを一同で祈る。

感謝の祈り 1

一同 神よ、
あなたはわたしたちを感謝と賛美の食卓に招き、
わたしたちに新たないのちを
満たしてくださいました。
この恵みにあずかったわたしたちが
聖霊に支えられ、
キリストの弟子として
歩むことができますように。
信仰の創始者、また完成者である
イエスのみ名によって。アーメン。

感謝の祈り 2

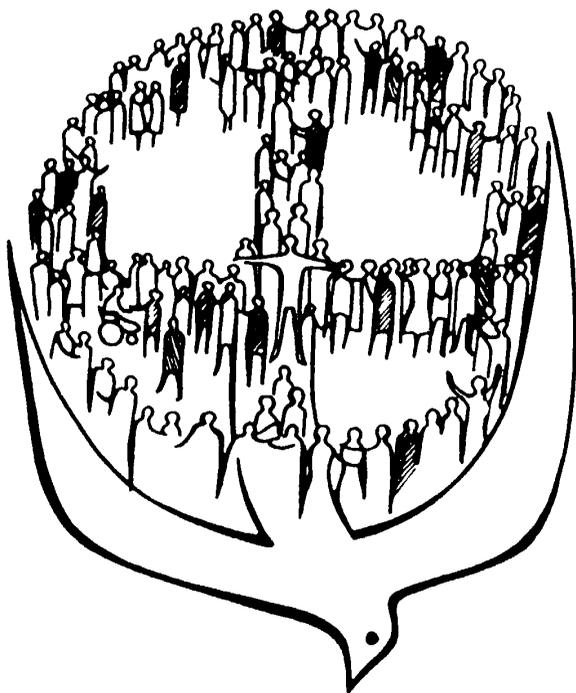
一同 恵み深い神、
あなたはわたしたちをいのちのパンで養い、
わたしたちを新たにしてくださいました。
今、わたしたちを遣わしてください。
日ごとの生活によって感謝を表し、
あなたを愛し、
喜びをもって
あなたと隣人に仕えることができますように。
キリスト・イエスによって。アーメン。

感謝の祈り 3

一同 いのちの神、
あなたからの糧で新たな力を得たわたしたちが
このテーブルから立ち上がって
出かけて行き、
キリストのからだとして、
正義と平和を実現し、
慈しみと愛に生きることができますように。
わたしたちのためにいのちを与えられた
キリスト・イエスのみ名によって。アーメン。

派遣のことば（『讚美歌 21』93-6-3）

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか」。
一同 わたしがここにおります。
わたしを遣わしてください。
司式者 キリストの平和の使者として、行きなさい。



日本キリスト教団 大阪福島教会

聖餐式文

2009年4月1日

©日本キリスト教団 大阪福島教会

海老原 佳奈子

海老原 道 宣

水 野 隆 一

無断使用・転載を禁じます

聖書の引用は

『聖書新共同訳』（日本聖書協会）

によりました